

第88回東伏見スポーツサイエンス研究会

日時 2024年4月10日(水) **16:00~17:30**
場所 早稲田大学79号館(STEP22)302室

演題

体罰と日本野球 歴史からの検証

中村 哲也(高知大学)

■部活動など、日本のスポーツにおける体罰の問題が絶えない。厳しい上下関係を背景に、指導の名のもとに繰り返される暴力。こうした歪な状態はいつ発生し、なぜ広がっていったのか。日本の代表的スポーツである野球の歴史をたどりながら、膨大な史料を駆使し実証的に考察。体罰なきスポーツ界の実現へ向け具体的に提言する。

■プロフィール:1978年大阪府生まれ。専門はスポーツ史・スポーツ社会学。

京都府立大学文学部史学科卒業、一橋大学大学院社会学研究科修了。博士(社会学)。早稲田大学スポーツ科学学術院助手を経て、現在は、高知大学地域協働学部准教授。

主要研究業績:『学生野球憲章とはなにか 自治からみる日本野球史』(2010年、青弓社)、『「甲子園」の眺め方 歴史としての高校野球』(白川哲夫・谷川穰編、2018年、小さ子社)、アーロン・L・ミラー『日本の体罰 学校とスポーツの人類学』(石井昌幸ほか訳、2021年、共和国)など。



歪んだ構造はいつ発生し、
なぜなくなるのか？

野球選手の自伝・回想録や野球部史など、
膨大な史料を駆使し、実証的に解き明かす。
体罰なきスポーツ界に向けて具体的に提言。



岩波書店

定価(本体2500円+税)

■中村哲也(2023)

『体罰と日本野球——歴史からの検証』



早稲田大学 スポーツ科学学術院
Faculty of Sport Sciences, Waseda University

世話人:前田清司・石津達野・安永太地
早稲田大学 スポーツ科学学術院

E-mail: yasunaga.taichi@aoni.waseda.jp